



白石市幼保小架け橋プログラムだより

なないろのかけはし

第4号

令和5年5月23日発行

令和5年度 幼保小架け橋プログラムでは

子供に立場の違いを超え 幼稚園・保育園・小学校・中学校との連携・協働で発達段階ごとの「学びの連続性」を整理し、架け橋期のカリキュラム・教育方法の改善に取り組みます。

白石市は令和4年度から文部科学省より3か年、架け橋期（義務教育開始前後の5歳児から小学1年生の2年間）の教育の充実のための実践を推進するモデル地域として指定を受けました。昨年度は、架け橋期のカリキュラムの作成や保育体験研修などを実施してきました。

2年目となる今年度は、市内公立の幼稚園・保育園・小学校に加え、私立の幼稚園・保育園そして市内の中学校も協力校として参加し市内全体で取り組みます。幼児期における遊びや小学校における主体的な学習活動中の学びの姿について、その後の中学校における教育とも関連させながら、発達段階ごとの「学びの連続性」を整理し、架け橋期のカリキュラム開発・充実に取り組み、白石の子供たちの健やかなる成長を目指します。ご理解・ご協力をよろしくお願いします。



白石市幼保小架け橋プログラム事業
オリジナルキャラクター
白石レイン坊です。



第6回架け橋プログラム運営会議（4月7日）



保育体験研修・小学校体験研修・各種交流活動などは3つのブロックに分かれて実施します。

A ブロック

- ・大鷹沢保育園 ○白川小学校
- ・白川保育園 ・東中学校
- ・ひかり幼稚園
- ・あそびの森
- ・白石第一小学校
- ・大鷹沢小学校

B ブロック

- ・第二幼稚園 ○越河小学校
- ・南保育園 ・大平小学校
- ・越河保育園 ・小原小中学校
- ・はるかぜ保育園 ・白石中学校
- ・白石第二小学校

C ブロック

- ・北保育園
- ・みのり保育園
- ・福岡小学校
- 深谷小学校
- ・福岡中学校

○はブロック長のいる学校

小学校体験研修(4月25日)

小学校体験研修ブロック情報交換会(5月9～11日)



幼稚園・保育園の先生方が、卒園児の小学校での入学後の様子の確認や小学校でのスタートカリキュラムの実施状況を把握することで、今後の幼保小の連携を一層深めていくという観点で小学校体験研修を各小学校で実施しました。その後、この体験研修が今後の実践につながるよう、ブロックごとに体験された先生方や受け入れた小学校の先生方が集まってそれぞれが感じたことなどの情報交換を行いました。話し合われたことを紹介します。



- Aブロック：・育ちや特性がそれぞれなので小学校では苦労していることが分かった。(幼保)
- ・早い時期に体験研修があつてよかった。(小)
 - ・できないことも工夫をすればできることもある。幼稚園や保育園の工夫を紹介していきたい。(幼保)
 - ・この会のように「つながる」ことが大切だと感じた。(小)



- Bブロック：・スタートカリキュラムの様子を実際に見てもらえてよい時間になった。(小)
- ・小学校の体験を通して、今現在の園児に伝えることができるメリットがある。(幼保)
 - ・手遊びや読み聞かせの工夫がとても勉強になった。(小)
 - ・1日の予定が視覚化されていて、児童が見通しをもって生活できていた。園でも絵カードを提示しているため、カリキュラムがつながっている。(幼保)



- Cブロック：・一人一役の給食の様子に感心した。暗唱読本を活用していることがわかった。(幼保)
- ・昨年度、保育園・幼稚園の暗唱読本に2か月に1回取り組んだ。(小)
 - ・学校へ行く機会を増やしてほしい。(幼保)
 - ・今年度、接続カリキュラムを行えば、自ずと増えるのではないと思う。(小)

体験研修をきっかけに、顔の見える関係として幼保小の連携を深めていきたいと思います。